



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.7

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)さいわい鶴見病院 外来棟 新築工事	階数	地上6F
建設地	横浜市鶴見区豊岡町261番2	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年5月 予定	評価の実施日	2022年3月9日
敷地面積	881 m ²	作成者	千藤 明頼
建築面積	515 m ²	確認日	2022年3月10日
延床面積	3,190 m ²	確認者	千藤 明頼

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 98%
③上記+②以外の: 98%
④上記+: 98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.7
Q2 サービス性能: 2.4
Q3 室外環境(敷地内): 1.7
LR1 エネルギー: 2.7
LR2 資源・マテリアル: 2.7
LR3 敷地外環境: 2.6

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮しF☆☆☆☆を全面的に採用している。	その他 特になし
Q1 室内環境	F☆☆☆☆を全面的に採用している。	Q2 サービス性能 給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。
Q3 室外環境(敷地内)		特になし
LR1 エネルギー	BPlm=0.78	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器)などを用いている。
		LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



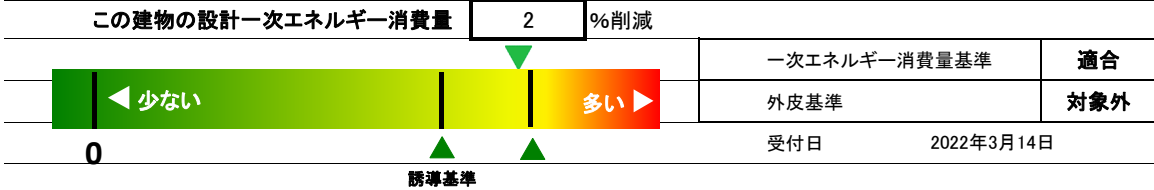
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)さいわい鶴見病院 外来棟 新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI_m=0.78

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪F☆☆☆☆を採用

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— —	



CASBEE横浜2017年版v.1.7

(仮称)さいわい観見病院 外来棟 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目				
配慮項目				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.3
Q1 室内環境					0.38			2.7
1 音環境				2.6	0.15	2.3	1.00	2.6
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	-
1.2 遮音				2.1	0.40	2.4	0.40	-
1	開口部遮音性能			1.0	0.43	1.0	0.30	-
2	界壁遮音性能			3.0	0.57	3.0	0.30	-
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	-
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音				3.0	0.20	1.0	0.20	-
2 温熱環境				2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50	-
1	室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57	-
2	外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	0.43	-
3	ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	1.0	0.20	-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	0.30	-
3 光・視環境				2.0	0.25	2.6	1.00	2.1
3.1 昼光利用				1.8	0.30	1.8	0.30	-
1	昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.60	1.0	0.60	-
2	方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3	昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 グレア対策				1.0	0.30	3.0	0.30	-
1	昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	1.00	3.0	1.00	-
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	3.0	0.15	-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	3.0	0.25	-
4 空気環境				3.5	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63	-
1	化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気				3.0	0.30	2.3	0.38	-
1	換気量	快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
2	自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	1.0	0.33	-
3	取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	-
1	CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	-	-	-
2	喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	1.00	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.4
1 機能性				2.1	0.40	2.8	1.00	2.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	-
1	広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	1.00	-
2	高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3	バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40	-
1	広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	4.0	0.50	-
2	リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3	内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				2.0	0.30	-	-	-
1	維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-
2	維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-
1	耐震性	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2	免震・制振性能	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	-
1	躯体材料の耐用年数	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	1.0	0.20	-	-	-
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
6	主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.2	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備	防災	⑯信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	防災	⑯信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3	電気設備	防災	⑯信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法	防災	⑯信頼性	1.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	防災	⑯信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				2.5	0.30	2.3	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり				1.6	0.30	1.6	0.50	-
1	階高のゆとり			2.0	0.60	2.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ			1.0	0.40	1.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	-
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)さいわい観見病院 外来棟 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
						Q3 室外環境(敷地内)		-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	1.0	0.30	-	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	2.0	0.40	-	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	2.0	0.50	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	2.0	0.50	-	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	-	-	2.7
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	5.0	0.20	-	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	3.0	0.10	-	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	2.1	0.50	-	-	-	-	2.1
4 効率的運用		2.0	0.20	-	-	-	-	2.0
集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	3.0	0.50	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	1.0	0.50	-	-	-	-	-
集合住宅の評価		-	-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	-	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	-	-	2.7
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	-	-	3.4
1.1 節水		4.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60	-	-	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	-	-	-
1 消火剤		-	-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	-	-	-
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮		3.0	0.33	-	-	-	-	3.0
2 地域環境への配慮		2.3	0.33	-	-	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25	-	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-	-	-
2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	-	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 騒音		3.0	0.33	-	-	-	-	-
2 振動		3.0	0.33	-	-	-	-	-
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	-	-
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	-	-
2 砂塵の抑制		-	-	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制		1.6	0.20	-	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-	-	-

上記以外の重点項目							
<事務用途>							
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-
<住宅用途>							
健康と安心							
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-